

平成24年第1回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 厚別警察署西の里駐在所の移転について

まず始めに、厚別警察署西の里駐在所の移転についてであります。現在北海道において西の里会館横の市有地に新築工事が進められており、本年2月24日に開所する予定となっております。この移転により、地域の交通安全や防犯等に大きな効果があるものと期待しているところであります。

なお、現在の西の里駐在所につきましては、北海道において3月末までに取り壊しを行い、その後土地交換に関する契約を行うこととしております。

2 防災ガイドブックについて

次に、防災ガイドブックについてであります。風水害や地震、火災発生時における避難場所や非常品などに関する情報などをまとめ、作成したところであります。

市民の皆さまには、本年1月に全戸配布したところであり、このガイドブックにより、防災に対する意識を高めていただきたいと考えております。

3 降雪状況について

次に、降雪状況についてであります。11月から12月にかけてまとまった降雪があったことから、近年としては降雪量が多めに推移してまいりました。

地区別の降雪量では、2月20日現在で過去10年間の平均値と比較して、東部、西部、大曲、西の里地区においてはほぼ平年並み、北広島団地地区では80センチメートル程度多く、市内平均の累計降雪量は約3.5メートルとなっております。

この降雪に対し、新雪除雪や道路の拡幅・排雪などの対応を行ってきたところですが、厳しい寒さが続き積雪が減らず、排雪量が増加したことから、除雪経費が不足するおそれが生じたため、本定例会において必要な経費の補正予算を提案させていただいたところがあります。

また、今年も中学校や高校の生徒の皆さん、企業、さらには多くの市民の皆さまが高齢者世帯などを中心に除雪のボランティア活動を行っており、地域の皆さまから大変喜ばれているところがあります。

活動に参加された皆さまに心から感謝を申し上げます。

4 企業の進出状況について

次に、企業の進出状況についてであります。センコー株式会社が広島第2工業団地に、北海道内各地への配送拠点である北広島PDセンター（複合物流センター）を建設し、本年1月11日から操業を開始したところがあります。

本センターの操業により、雇用の促進とあわせて地域経済の活性化につながるものと期待しているところがあります。

5 保健福祉等に関する諸計画について

次に、保健福祉等に関する諸計画についてであります。市民や保健医療福祉関係者で構成する検討委員会及び専門部会において審議され、パブリックコメントを実施し、平成24年度からスタートする第3期地域福祉計画をはじめ、高齢者保健福祉計画、第5期介護保険事業計画、障がい者福祉計画、第3期障がい福祉計画、健康づくり計画を策定いたしました。

また、食育推進計画につきましては、市民や農業生産者、教育関係者などで構成する懇談会において、ご意見をいただきながら指針として策定したところであります。

今後は、これらの諸計画に基づき施策を推進してまいりたいと考えております。

6 学校跡施設利活用計画について

次に、学校跡施設利活用計画についてであります。庁内に設置いたしました策定会議において方針をまとめ、パブリックコメントを実施し、計画をまとめたところであります。

計画では、活用にあたっての基本的な考え方にに基づき、両跡施設に防災機能や地域交流スペースを確保するとともに、広葉小学校跡施設には児童館やエコミュージアムに関する施設などを整備することとしております。

また、緑陽小学校跡施設につきましては、民間事業者からの提案を公募することとしております。

なお、施設改修等に向けた基本設計を行うため、本定例会において必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

7 新庁舎建設基本構想について

次に、新庁舎建設基本構想についてであります。現在の庁舎が抱える狭あいや老朽化の課題、耐震性の問題、また、今後ますます多様化する行政需要に対応するため、建設にあたっての基本的な考え方や導入する機能、規模、位置など、新庁舎建設に向けた基本構想を取りまとめたところであります。

今後はこの基本構想に基づき、基本計画を策定し整備を進めてまいりたいと考えております。

なお、新庁舎建設費用の財源を充実させるため、庁舎建設基金への積立てを本定例会において補正予算として提案させていただいたところであります。

以上申し上げ、行政報告といたします。